



再び広報委員長に

指名されて

杉山 忠 郎

この度の理事選は、「役員選挙規程」により全国区で立候補しなければなりませんでしたが、幸い、定員数の立候補者数であったため、無投票で当選させていただきました。支部長はじめ支部役員および会員の先生方の力強い応援をいただきましたことに対し、心から厚くお礼と感謝申し上げます。

さて、その後の新理事会で梶川理事長が再任されました。そして、新しく理事になられた二人を含めた中から、梶川理事長の推薦・理事会の決議を経て、不肖私が、広報委員長に再任することになりました。早速、広報委員会のメンバー四名を選び出す仕事が始まりました。幸いにも前広報委員会の先生がご健在でしたので、電話で要請したところ、快く内諾をいただきましたので、所属支部の支部長先生に依頼状をお送りして、ご承諾をいただき現広報委員会が発足いたしました。

早速、第一回広報委員会兼全国珠算新聞編集会議が、七月六日(水)東京事務局で開かれ、広報委員会が始動いたしました。と同時に、私塾の授業日の変更も生徒・保護者に承諾していただく連絡も始まりました。広報委員会の会合は、全国珠算新聞

の編集会議(うち、三回は委員会を併催)が二ヶ月に一度平日に行われるため、授業日もその都度変更しなければなりません。そのほかの会合も日曜日以外の日に開催されることがありますので、生徒・保護者のご理解がなければ、役職を全うすることが出来ず、このことが一番の気掛かりになっています。

ところで、広報委員会の仕事内容などを会員の先生方に知っていただくために、少し書いてみます。

まず、先に述べました全国珠算新聞が二ヶ月に一度、奇数月の一日に発行されます。ただ、出来る限り最新の情報を掲載するようにしたいということと、全国各地のニュースを均等にお伝えしたい等、締め切り期日すれすれまで待つということもあって、発行日の遅れが続いています。新理事会でも理事長から指摘されましたので、今期は、全力で頑張っていきたいと思えます。

次に、全珠連会報の発行があります。これは総会をはじめ各会議の内容を全会員に伝達するための機関誌です。全珠連の事業内容、予算・決算の状況など先生方に会員としての権利・義務の一端としても手元において、いつでも全

珠連の状態を把握、ご理解の上、ご意見・提案などを役員を通じて、支部・本部に伝えるなど全珠連発展のためにご協力くだされば幸いです。

このほかの事業では、PR事業として珠算の普及発展に重要なことを、テレビ・ラジオ・新聞などを活用して、広くアピールするための原案の作成をすること。珠算パブリシティ活動の実施として、珠算学習に関連したアンケートの企画を行い、新聞など媒体各社と記者懇談会を行い、その結果の報道を通じて基礎学力の向上と珠算学習との関係について、広く一般社会にアピールする。などの事業を行っています。

更に、会員のためのポスターやちらしの作製、そしてカレンダーの作製などのほか、全日本大会・研究集会の取材をはじめ、各地で行われる競技会などの取材も委員会が担当を決めて、活動を続けています。

このほかにも、国際交流事業として「小・中・高校生そろばん訪米使節団」の一員として、広報委員会から私と委員会委員一名が昨年に続いて、第二十三回の使節団に、全国から募集した団員二十四名と一緒に、この八月に行つてまいりました。

広報委員長二期目の本年度は、前期の経験を活かして全珠連のために頑張っていきたいと考えています。

地区・支部の先生方には、ご迷惑をお掛けすることも多々ございますが、全珠連・静珠協発展のために、ぜひ、ご協力をお願い申し上げます。

新入会員紹介



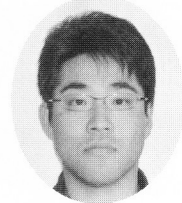
鈴木 厚志

(すずき あつし)

昭和34年2月9日生

〈浜松地区〉

鈴基そろばん竜禅寺塾
舞 阪 塾



高梨 和司

(たかなし かずし)

昭和46年8月1日生

〈中遠地区〉

たかなし珠算教室



尾崎 潔

(おざき きよし)

昭和37年4月26日生

〈中遠地区〉

尾崎速算学会西新町教場



山田 美津子

(やまだ みつこ)

昭和26年9月7日生

〈沼津地区〉

山田珠算塾